



並木中等story

令和2年6月25日号

親との衝突・・・あり得ることです！

親（保護者）が許してくれないと嘆いている人がいると聞きました。このこと、特別なことではありません。多くの家庭で起こることです。私も親と何度も言い合いをしました。私の子どもともしました。親は保護者です。自分の子どもを心配して、いろいろと苦言を呈したり、壁になるのは当然です。

しかし、この衝突、皆さんの自律のための一歩であることを知っていますか。いつまでも、親に面倒をみてもらおうと考えている人はいませんよね。逆に将来は、あなた方が親の面倒をみることになるでしょう。将来は親からも離れ、自らの考えで行動しなければなりません。しかし、若いときは考えが甘いこともあります。だから、許してもら



えないこともあるのでしょうか。大切なのは、ここから。“親が許してくれない”と親に対しての文句を言っても解決になりません。人のせいにしては進歩はないのです。大切なのは、あなたが親の心配をいかに取り除くかを考え、説明、行動することです。これは社会勉強でもあります。就職して、自らが作成した企画が通らなかった時、上司に対する文句を言ってるだけでは進みませんよね。上司が納得する説明が必要です。それと同じです。自律のための一歩、皆さんの成長を期待します！

《並木中等の感染防止対策》

- 昇降口でサーモグラフィー等を用いて体温を測ります 健康観察を行います
- 登校後も含め、機会あるごとに手洗いをします 各階に消毒液を設置します
- マスクを着用し、教員と生徒が近い場面はフェイスシールドを使用します
- 教室の両側の窓、ドアを一部開け、換気をします 今後、扇風機も設置します
- 生徒どうしが対面する授業は当面控えます

